

フランスの国民的人情喜劇を
山田洋次 × 今井翼のタッグで舞台化!

音楽劇 マリウス

『マリウス』はフランス・マルセイユ独特の陽気でのんびりと生きている市井の人々と、
港町の風情をコメディタッチで描いた国民的な古典喜劇。
映画化もされ、あたかも山田洋次の寅さんシリーズのごとく、
フランス国民に愛され続けている作品です。

脚本・演出を手掛ける山田洋次はかつて本作品も原作とし、
舞台も日本に移した映画「愛の讃歌」(1967年 / 倍賞千恵子主演)を監督いたしました。
今回、満を持してオリジナルのフランスバージョンでの舞台化に挑みます!
さらに今回は歌やダンスが盛り込まれ、誰もが楽しめる音楽劇に!!

ストーリー

1931年 フランス・マルセイユ。
地中海からの爽やかな風が吹き抜ける港町で起こった、小さな“愛”の物語——。

フランス・マルセイユでカフェを経営するセザールの周囲にはいつも近所の個性的な村人たちが集まっている。
渡し船の船長エスカルトフィグやその船の若い水夫、官吏のブラン氏やお金持ちのパニスなど。このカフェは
村の集会所のようなものだった。

セザールは一人息子マリウスと暮らしているが、マリウスは船乗りとして海に出ることを熱望している。マリウス
は幼なじみのファニーとお互いに想い合う仲だが、なかなかお互いの気持ちを打ち明けることができない。
だがそんな二人の気持ちが通じ合い、ある夜二人は結ばれる。

しかし幸せもつかの間、マリウスは船に乗るチャンスを掴み、ファニーはマリウスの夢をかなえるためにマリウス
を愛していないと嘘をつき、マリウスはファニーをおいて航海に出てしまう。

その後、ファニーはマリウスの子供を妊娠したことがわかり——。

脚本・演出	山田 洋次
原作	マルセル・パニョル (『マリウス』『ファニー』より)
マリウス(船乗りをめざす若者)	今井 翼
ファニー(マリウスの恋人)	瀧本 美織
オノリーヌ(ファニーの母)	広岡由里子
エスカルトフィグ(渡し船の船長)	有蘭 芳記
クロディーヌ(オノリーヌの妹)	田中 利花
ピコアゾー(マリウスの友人)	阿南 健治
ブラン氏(セザールの友人)	綾田 俊樹
パニス(裕福な商人)	林家 正蔵
セザール(マリウスの父親)	柄本 明

平成29年

3月6日月 ~ 27日月

平成29年1月28日(土)チケット一般発売開始!

2017年 3月	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
12:00																							
13:00																							
17:00																							
18:00																							

チケットホン松竹 (10:00~18:00) 0570-000-489 または03-6745-0888

チケットWeb松竹 (24時間受付) [チケットWeb松竹](#)

【ご観劇料(税込)】

S席 12,500円
A席 7,500円
B席 4,000円

 日生劇場
NISSAY THEATRE

〒100-0006 東京都千代田区有明1-1-1 電話03(3503)3111

団体観劇(15名様以上)のお申込み、お問合わせは 松竹(株)演劇興行部販売課 03(5550)1685